

つながる☆ひろがる

幼保小連携通信



発行:札幌市教育委員会 幼児教育センター担当課

令和3年12月1日

「小中」「中高」など、各学校段階等間で学びのつながりが重要とされていますが、**学びは小学校入学前から始まっています。「幼小」にも学びのつながりがあるのです。**

幼児期から連続性のある教育活動を行うため、今後、幼児教育センター担当課から、幼児教育のこと、各区の幼保小連携推進協議会、幼保小モデル園・校事業等の取組を紹介します。

第1号では、幼児教育に求められていることと幼小のつながりについてお伝えします！

幼児教育は小学校教育の前倒しではない

幼児期は、興味や関心に基づいた直接的・間接的な体験を通して様々なことを学ぶ時期だと言われています。そのため、**小学校の教育につながる「幼児期の学び」は「遊び」の中にあります。**しかし、幼稚園や保育園等の中には、幼児教育の「教育」という言葉を間違えて捉え、小学校の学習を先取りしてしまうという例がないわけではありません。

幼児教育は…

- 「縄跳びが跳べると良い」「平仮名が書けるとスムーズ」など、**小学校の教科内容等を同じように取り扱い、「できるようにする」ことを求めるものではありません。**
- たっぷりしっかり遊ぶ中で、**人への信頼や好奇心、諦めない気持ちや考えることの面白さ**などの小学校以降の学びの基礎＝**資質・能力を育むことが求められます。**
- 幼児教育も小学校以降と同じく「**主体的・対話的で深い学び（遊び）**」を通して、**資質・能力を育みます。**

幼児教育

自分のことは自分で
できるといいよね

うまくいかない
経験も必要だよ

やってみたいことに
とことん取り組んでほしいな

教えてばかりじゃ
自分で考えないよね

人とかかわることの
面白さを感じてほしいな

自分で考えて行動できる
ようになってほしいな

思いのぶつかり合いで
気付くことも大事だよ

こんなこと大切に育てたいな

つながり

主体的・対話的で深い学び（遊び）を通して

小学校



あれ？これって小学校入学後も大切にしたいことだよ

主体的・対話的で深い学びの実現

御質問、御感想等は幼児教育センター担当課までお願いします。Tel211-2655

